

第63回 新潟県小中学校PTA研究大会

Q ねえ先生？
保護者は終わりがあっても
先生はずっとPTAあるんだよね？
これからも、今のままでいいって
思えますか？

Q ねえ、ねえ保護者の皆さん。
あなたの学校のPTA
“またやってもいいな”って
思えますか？

このPTA研究大会で話をする人たちは、
上の質問にNO!と答え、それぞれの学校で改革を実践。
理屈や評論ではないPTA改革を自ら実践した元校長と保護者たち。



新潟のPTAは
ここから変わる!

持続可能な意義あるPTA活動

～未来の会員のために～

改革だけじゃダメなんだよ 意義・在り方を再確認

交通アクセス

小千谷市民会館 〒947-0031 新潟県小千谷市土川1丁目3-3
TEL 0258-82-9111



お問い合わせ

新潟県小中学校PTA研究大会 小千谷大会事務局
小千谷市立小千谷中学校 大橋直子

TEL 0258-82-2297 FAX 0258-82-1776 メール yachu-syukan@ojiya.ed.jp

第63回 新潟県小中学校 PTA研究大会 小千谷大会のご案内

期日

令和6年10月6日(日)

12:40~16:50

会場

小千谷市民会館

主催：新潟県小中学校PTA連合会
共催：小千谷市教育委員会
後援：新潟県教育委員会(申請中) (一社)新潟県PTA安全互助会
主管：小千谷市PTA連合会

ご案内

新潟県小中学校PTA研究大会は、子どもたちの成長への諸課題に対する課題解決に向けたPTA活動を研究、共有する学びの機会として半世紀以上に渡り実施してまいりました。今年度の小千谷大会が63回目の大会となりますが、今までを築いてくださいました会員皆様に敬意と感謝を申し上げます。

さて、小千谷市は、新潟県の人口が全国一位だった江戸時代に、織物である小千谷縮を主とした商業により関東、関西をつなぐ大切な役割を担う越後の拠点の一つでした。戊辰戦争においては西軍、東軍の談判の機会をつくった歴史もあり、歴史の大きな転換期の場として全国や世界で活躍した政界や経済界の方々が訪れる地域です。そして、学校教育においては、地域内だけではなく、戊辰戦争で疎開する周辺地域の子どもたちも含め、教育に力を注ぎ、日本最古の公立小学校を設立した歴史もあります。地域の有力者を中心に住民、保護者、教育者が一体となり教育に尽力するという精神が根付く地域です。

人口動態、社会情勢の変化により、生活環境や教育環境が変わり続ける中で、PTAの組織、活動も時代にあった在り方や、やり方が求められます。本大会が、ご参加くださる保護者、教育関係者の皆様にとって有意義な機会となりますよう開催に尽力いたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

新潟県小中学校PTA連合会 会長 宮下 あさみ
小千谷大会実行委員会 委員長 山田 一郎

大会 主題

考えよう 持続可能な意義あるPTA活動 ～未来の会員のために～

子どもたちのより良い成長は、保護者、教職員共通の願いです。しかし、様々な事情から双方が協働する組織を解散する現実が全国各地にあります。共通の願いを持つ者同士だからこそ、それぞれの立場を活かし価値ある協働組織として後世に受け継ぐ必要があります。

よって、PTAの在り方を再確認、再発見し、未来に向けた改革へのヒントを共有できる研究大会を実施します。

日程

12:00	12:40	13:25	13:50	14:45	16:30	16:50
受付	開会式 表彰式	新潟県 教育委員会 のお話	記念講演	パネル ディスカッション	閉会式	

参加申し込みについて

◆申し込み方法

- ①各単Pは、7月19日(金)までに申込書(単P用)で各郡市P連事務局にメールでお申込みください。
- ②各郡市P連事務局は、上記についてとりまとめの上、7月26日(金)までに申込書(各郡市P連用)で大会事務局にメールでお申込みください。
- ③昼食の斡旋はありません。

◆参加費納入…各郡市P連事務局は、7月26日(金)までに下記へお振込みください。

お振り込み先
大光銀行 小千谷支店
普通預金 口座番号 3539800
口座名 小千谷市PTA連合会 代表 山田 一郎

◆参加予定数…450名 (オンライン参加を含みます)

◆参加費…500円 (オンライン参加も同様です)

記念講演

ここから生まれっ！ PTA新時代！！ これからの公教育が求める学校と保護者の役割

プロフィール



福本 靖

福本 靖

改革当時、神戸市立本多聞中学校で教頭を1年3か月、その後2年間校長を務める。次に、神戸市立桃山台中学校で5年校長を務め、定年退職。川西市教育委員会理事を経て、今年度2024年4月から神戸市教育長に就任。

今関 明子

神戸市立本多聞中学校のPTA副会長を2年、その後1年はPTA会長を務め、退任後は保護者と校区住民を結び活動に取り組む。「学ぶこと、わかることは、衣食住を整えることと同じくらい大切な経験」と、現在は放課後学習会を運営。

2019年5月「PTAのトリセツ」
2024年4月「学校のトリセツ」
福本 靖氏、今関明子氏 共著にて出版



今関 明子

PTA副会長を引き受けたのは、地域役員会は会議が夜で3人の子どもに留守番させての出席は難しいとの消極的理由からでした。副会長なら活動は昼間、定員も2名で友人と一緒にやれるのでまだマシかと。PTA役員は小学生の子がいるのが共通項なのに下校時間が過ぎても続く会議や、休日の研修会への動員（まさに今回がそれだというのが皮肉で苦しいです）に、何のためのPTAなのか疑問が沸きました。

またPTA主催の親子レクリエーションの苦情もPTA役員からの辞退連絡も担任が受けている現状から先生方が保護者とPTA本部役員の板挟みなのを感じました。そして校長先生は、頻りにPTA室に来る学校寄りの私の意見より、多くの物言わぬ保護者の意向を知りたがっていることに気がつきました。保護者の多数の声も届けずに本部役員だけが学校の様子がわかり「役員やってよかった」で終わらせてはいけないと感じました。

そこで一般役員が校長の話聞ける機会を増やしました。

例えばお祭りパトロール。単に当番を依頼されるより、先に校長から、「日頃、昔の遊びや戦争体験を話す授業でお世話になっている地域の人からの依頼は断れない」などの背景をきくと、なぜパトロールが必要か腑に落ちます。聞ければ意見もです。皆が、今で言う、チョコっと学校を知れる経験をするために「一番忙しい人でもできるPTA役員」を目指し活動は子どもの顔がみえることだけに精査しました。

結果、お気軽に立候補する気になるPTAとなりました。会計担当者の仕事削減は難しく研修会動員などの交通費精算作業を減らすことくらいしかできませんでした。

中学校では「保護者の意向を汲まずして学校運営はできない」との理念を持った福本校長のもと、毎月一回の学校とPTAの意見交換会は、不可解な学校なりの拘りを解き明かす場になり進路など保護者の知りたいことを深く聞く場になりました。学校とのパイプ役となるPTAの意義が理解され役員率が高まりました。

子育て中の一定期間、学校教育に関わることは親だからこそその想いを活かせる大切なチャンスです。既存のPTAがそのために何ができるか、学校、保護者の役割を皆さんと一緒に考えたいと思います。

パネルディスカッション アンケート結果からお題の設定

PTA改革の実践者に訊く 教えて！お悩み解決策！！



岩崎 智
(子ども1人)

新潟県糸魚川市立糸魚川東中学校
(当時の全校生徒136名)
令和3年度会長

「初めてのPTAが会長職。人口減少に悩む田舎の小規模校の現実。持続可能な組織へ改革実行。」

多くの保護者が要職に就きたがらない中、何かを変えなければならないと思い、会長を引き受けました。役員選考や会則はもとより活動自体も、現代社会と合わない箇所が多々ありました。子どもたちの未来を考え、持続可能な組織を目指し、目的達成事業の廃止、専門部の統廃合、組織のスリム化、デジタル化を実施しました。



武藤 愛美
(子ども5人)

群馬県伊勢崎市立名和小学校
(現在の全校児童450名程度)
令和1年度副会長 令和2年度会長
令和3年度会計 令和5.6年度会長

「5人の子どもを育てながら、こんなPTAやっつけられない！改革実行、ボランティア制度にギアチェンジ真っ只中。」

幼稚園で会長をやっていた繋がりから声がかかり、当初は専業主婦だったことや、埼玉から嫁いできたこともあり合い作りの感覚でした。とにかく仕事量が多く、LINEなどで済む内容も会議で月に3、4回やっていました。

途中からは、お仕事を再開しながらのPTAとなり、まだまだ厳しいと感じ、会議内容や回数も減らすことから始め、不要と思われる組織、活動を廃止しながら、子どもたちが楽しんでいる活動は継続し、ボランティア制も取り入れました。今は仕事をしながらの会長なので、仕事をしてもできるPTAを目指して活動しています。

少しずつですが、楽しい、楽しそうとの声も聞こえはじめていますので継続して改善を進めています。



山田 祐輔
(子ども4人)

新潟県柏崎市立新道小学校(150名程度)
令和4、5年度 副会長

「熱血会長を支える副会長 楽しさに絞った活動改革で翌年役員立候補溢れました。」

組織の体質的に、前例重視にならざるを得ないPTAの体制に疑問を抱き、役員に立候補。小さな学校なので、本気で動けばすぐに雰囲気を変えられるという確信があった。情熱あふれる会長を支えつつ、新たな企画を立ち上げ、「一年間このメンバーでワイワイやって楽しそうな雰囲気作って、一年後に、自発的に三役に立候補してくれる人が一人でもいたら成功だね」と盛り上がる。一年後、本当に「役員が楽しそうだから」という理由で三役に立候補してくれた方がいた！大成功！